

第9章 交通に関する検討事項 — キャンプ場への送迎

この章はキャンプ場まで直接送り届けるか途中の集合場所からキャンプ場へまとめて送るかにかわらず、日帰りキャンプ、宿泊を伴うキャンプの両方に関連した情報である。

運営

到着時

- ・ 3密を避け、参加者が一度にキャンプ場に集合しないように、到着スケジュールを作成する。
- ・ 到着スケジュールは、参加者数や到着エリアの状況などによって異なる。到着エリアでは、時間を決め物理的な交流と密度を軽減することを目指す。
- ・ 各参加者に到着可能な時間帯を割り当て親/保護者に通知する。時間帯を特定する目的を説明し、以下の対策を奨励する：
 - 交通の流れがとぎれないようにするため、お別れの時間を最小限に抑える
 - 車の近くや車内で、さよならを言う
 - 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ
 - 車両から出るとき、マスク等を着用する
- ・ 日帰りキャンプの場合：キャンプ参加者を毎回送り届ける親/保護者を1人に限定する。CDCガイダンスに従い、重症化リスクが高い人はキャンプ参加者を送迎しない。
- ・ 最善策：アメリカ疾病予防管理センター（CDC）、世界保健機関（WHO）、その他の医療機関の関連するポスターおよび貼り紙を準備し、到着エリアに掲示する。このガイドの「第1章 キャンプ関係者とのコミュニケーションに関するガイダンス」を参照すること。例：
 - COVID-19情報
 - 手洗い
 - 咳エチケット
 - COVID-19に関連する症状
 - ウイルス拡散の防止
 - フィジカル・ディスタンシング

キャンプ参加者およびスタッフの入場

- ・ キャンプ参加者とスタッフが到着エリアに入場するとき、20秒間石けんと水で手を洗うか、少なくとも60%のアルコールを含んだアルコール系手指消毒剤を使えるようにする。
- ・ キャンプ参加者が途中の集合場所で降車しキャンプ場に移動している場合、可能であればバスやワゴン車に乗る前に、降車場所でキャンプ参加者の最初の健康チェックを実施する。それ以外の場合、キャンプ場に到着したときに最初の健康チェックを実施する。「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」を参照すること。
- ・ 参加者が直接キャンプ場に到着した場合、到着時にキャンプ参加者の最初の健康チェックを実施する。「第3章 スクリーニングと初期対応に関するガイダンス」を参

照する。

- ・ **最善策**：キャンプ参加者を歓迎し、到着時に屋外で最初の健康チェックを行う。
- ・ キャンプ場に到着したら、消毒用ウェットティッシュを配布し、ハンドルやその他の非多孔質（石、金属、プラスチックなど通水性のない素材）部品に特に注意しながら荷物の消毒を行うよう参加者に指示するか、あるいはトレーニングを受けたスタッフが消毒を行う。消毒剤の仕様については、このガイドの「第6章 清掃・洗浄および消毒に関するガイダンス」を参照する。

キャンプ参加者およびスタッフの迎え

- ・ 3密を避け、参加者が一度に集合しないように、出発スケジュールを作成する。
- ・ 出発スケジュールは、参加者数や出発エリアの状況などによって異なる。出発エリアでは、時間を決め物理的な交流と密度を軽減することを目指す。
- ・ 各参加者に出発可能な時間帯を割り当て親/保護者に通知する。時間帯を特定する目的を説明し、以下の対策を奨励する：
 - － 交通の流れがとぎれないようにするため、乗車にかかる時間を最小限に抑える。
 - － 可能であれば、車の近くや車内にとどまる。
 - － 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ。
 - － 車両から出るときは、マスク等を着用する。
- ・ **最善策**：親/保護者の車両にキャンプ参加者を案内するシステムを作成する。
- ・ 日帰りキャンプの場合：キャンプ参加者を毎回迎えに来る親/保護者を1人に限定するメリットを親/保護者に伝える。CDCガイダンスに従い、重症化リスクが高い人はキャンプ参加者を送迎しない。

バスおよびワゴン車

キャンプ参加者が途中の集合場所で降車しキャンプ場に移動している場合、以下のガイドラインに従う。

- ・ 可能であれば、乗客のキャビン別に貨物室を備えたバスやワゴン車を使用する。
- ・ 乗客から荷物を受け取るスタッフを特定し、受け取った荷物は保管場所に置き、後にすべての荷物を降ろす。この作業中、スタッフはマスク等と手袋を着用する必要がある。
- ・ 「第9章 バスあるいはワゴン車の走行に関するガイダンス」を参照する。

キャンプ参加者およびスタッフ

- ・ 予定されている到着時間に確実に間に合うよう、早めに準備する。
- ・ 降車のとき、別れのあいさつに時間がかかりすぎないようにする。他のキャンプ参加者が降車の順番を待っている。
- ・ 車の近くや車内で、別れのあいさつをする。
- ・ 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ。
- ・ キャンプに到着したら、ハンドルやその他非多孔質（石、金属、プラスチックなど通水性のない素材）の部品に特別な注意を払いつつ、アルコール拭きを使って手荷物

を消毒するか、スタッフが消毒するまで待つ。

親/保護者

- ・ 送迎スケジュールに従い、割り当てられた時間帯内にキャンプ参加者を送迎する。スケジュールがかち合ってしまう困難な場合キャンプ運営者に連絡し、より都合の良い時間帯を選ぶ。
- ・ 交通の流れがとぎれないようにするため、別れのあいさつに使う時間を最小限に抑える。
- ・ 車の近くや車内で、別れのあいさつをする。
- ・ 他の親/保護者およびキャンプ参加者とのフィジカル・ディスタンスを保つ。
- ・ 車両から出るときは、マスク等を着用する。
- ・ 毎回キャンプ参加者を送り届ける1人の親/保護者を指定する。CDCガイダンスに従い、重症化リスクが高い人はキャンプ参加者を送迎しない。
- ・ キャンプ参加者全員が出発するとき、20秒間石けんと水で手を洗うか、少なくとも60%のアルコールを含んだアルコール系手指消毒剤を使えるようにする。
- ・ 一般的に、家庭内での良好な呼吸器衛生/咳エチケットの指導と練習を実施する。

車両の運転者

「第9章 バスあるいはワゴン車の走行に関するガイダンス」のガイダンスを参照のこと。

参照先および資料

U.S. Centers for Disease Control and Prevention. *Guidance for Childcare.*

www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/schools-childcare/guidance-for-childcare.html#pickup

バスおよびワゴン車の走行に関するガイダンス

以下に、バス、ワゴン車、またはその他の公共車両での移動中に推奨される一般的なガイダンスと手順を示す。キャンプ運営者、運転手、乗客（例：キャンプ参加者およびスタッフなど）、管理スタッフのための推奨事項が記載されている。

注：車両を使用する輸送は、必要な場合のみ推奨される。他の手段（ウォーキング、ジョギング、サイクリング、ハイキングなど）で目的地に合理的に到達できる場合、そのような代替手段を使った目的地までの旅行を計画することが有益かもしれない。

運営

- ・ 運転手という重要な職務のために、資格を持ち、トレーニングを受け、免許を持つスタッフの名簿を作成する。
- ・ 使い捨て手袋、マスク、および清掃用品を保管する。こうした備品の配布、廃棄、洗浄（該当する場合）、および再補充の計画を作成する。
- ・ 輸送スタッフに、呼吸器疾患の症状を上司またはキャンプ運営者に報告するよう指示する。
- ・ **最善策**：交通関連の従業員全員は、勤務開始時に病気の兆候がないかどうかを検査する。
- ・ 病気の従業員は自宅にとどまるよう積極的に促し、病欠に柔軟に対応する。
- ・ スタッフと参加者のために石けん、清潔な流水またはアルコール系手指消毒剤、マスクを用意する。スタッフと参加者のために、適切な手洗いと消毒手順のトレーニングを行う。
- ・ **最善策**：車両運転手は、乗客を運ぶ際にN95マスクを着用する必要がある。従業員は、健康診断、適合テスト、N95マスクを着用するためのトレーニングを毎年受ける必要がある。
- ・ 車両の洗浄のため、EPA承認の消毒剤を保管スタッフに提供する。
- ・ 可能であれば、より大きな車両あるいはより多数の車両を使い、乗客がより長いフィジカル・ディスタンスを保てるようにする。
- ・ 利用可能な座席数を減らして、乗客間のフィジカル・ディスタンスを広げる。貼り紙、ステッカー、色付きの紐、テープなどを使用して、使用しない座席に印を付ける。
- ・ **最善策**：運転者のソーシャル・ディスタンスを保つため、前方の席は数列使用できない状態にしておく。
- ・ 同じ車両を何度も使用する場合、キャンプ参加者に座席を割り当て、毎回同じスペースに座ってもらう。使用する前に、車両を洗浄および消毒する。
- ・ 可能であれば、運転手と車両の他の部分との間に透明な防水性バリアを設置した車両を探す。アクリルガラス、あるいは柔軟なプラスチックシートなどがふさわしい。この装置はメーカーおよび車両の安全ガイドラインに従ってのみ使用すること。
- ・

乗車するキャンプ参加者とスタッフ

- ・ 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、乗車しない。
- ・ バス、ワゴン車、あるいは車両に乗る前、手を洗うか消毒する。
- ・ 衛生的な習慣：咳やくしゃみは袖で押さえ、口、鼻、目に触れない。
- ・ 可能であれば、乗客間の距離を離し、フィジカル・ディスタンスを保つ。
- ・ 乗車中はマスクを着用する。
- ・ 車両に再乗車する場合、毎回同じ座席または割り当てられた座席に座る。
- ・ 降車する際は、すべての荷物を降ろしごみをすべて廃棄する。

車両の運転者

- ・ 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、運転しない。
- ・ 最低限、マスクを着用する。マスクが視界や車両の安全運転を妨げないようにする。
- ・ 適切な手袋を着用する。手袋が車両の安全運転を妨げないようにする。
- ・ **最善策**：N95マスクを着用する。従業員は、健康診断、適合テスト、N95マスクを着用するためのトレーニングを毎年受ける必要がある。保護マスクが視界や車両の安全運転を妨げないようにする。
- ・ 乗客とのやり取りを制限し、フィジカル・ディスタンスを保つ。
- ・ 可能で安全な場合、運転者はキャンプ参加者の乗車前に窓を開ける必要がある。窓が開けられない、あるいは開けると不快な場合、換気システムを最大に設定する。車内の空気を再循環させない。
- ・ 作業シフトや休憩の前後、また頻繁に接触がある箇所に触れた後は、石けんと水を使って20秒以上手を洗うか、アルコール系手指消毒剤を使用して手を消毒する。

清掃・洗淨および消毒の担当者

- ・ 病気の場合またはインフルエンザのような症状が見られる場合、作業しない。
- ・ 使い捨て手袋とマスクを着用する。
- ・ **最善策**：清掃・洗淨および消毒の際に使い捨てガウンを着用する。
- ・ 車両を毎日洗淨および消毒する。
- ・ **最善策**：1日の使用前後に、必ず車両を洗淨および消毒する。
- ・ 利用者のグループが変わるたびに、または走行ルートが変わるたびに、車両の一般的に接触する箇所を常に洗淨および消毒する。
- ・ 硬い非多孔質の箇所（硬い座席、取っ手、ドア、窓など）が汚れている場合、消毒する前に洗剤または石けん水で洗淨する。
- ・ 以下のものを使用し、硬い非多孔質の表面を消毒する：
 - － 新型コロナウイルスSARS-COV-2に対して使用するEPA承認抗菌性製品。
 - － 希釈した家庭用漂白剤。4リットルの水に対し大さじ5杯（カップ1/3）の漂白剤または1リットルの水に小さじ4杯の漂白剤を加える。アンモニアベースの溶液と併用しない。
 - － 少なくとも70%以上のアルコールを含むアルコール系溶液。
- ・ 柔らかいまたは多孔質の面（布張りの座席、室内装飾品、カーペットなど）が目に見

えて汚れている場合、適切な洗剤を使って洗浄し、次に新型コロナウイルスSARS-COV-2に対して使用するEPA承認抗菌性製品を使用し、柔らかいまたは多孔質の面を消毒する。

- ・ 頻繁に触れる電気系統の部品（例：キャビン制御、タッチスクリーン、照明など）が目に見えて汚れている場合、電子機器に対して使用できる製品を使って洗浄する。
- ・ メーカーの推奨事項に従い、電気機器の表面を消毒する。なければ、70%以上のアルコールを含むアルコール系溶液を使用する。
- ・ 降車直後に、手袋、マスク、ガウン（該当する場合）を取り外して廃棄する。
- ・ 清掃・洗浄および消毒の直後（そして休憩前）、石けん水で手を20秒以上洗浄するか、アルコール系手指消毒剤を使って手を消毒する。
- ・ 使い捨てガウンを着用していない場合、直ちに適切な暖かい水を使用し着用した布製品（または制服）を洗濯し完全に乾燥させる。汚れた洗濯物を扱った後、直ちに手を洗う。洗濯のやり方の詳細については、「**洗浄方法**（50-52ページ）」の項を参照する。
- ・ 詳細については、洗浄および消毒におけるCDCガイダンスに従う。

詳細情報：

アメリカ疾病予防管理センター バスの運転手

www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/organizations/bus-transit-operator.html

アメリカ疾病予防管理センター 輸送用車両の消毒

www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/organizations/disinfecting-transport-vehicles.html